

令和 年度 個人カリキュラム・記録(2か月毎)

			施設長	主任	担任
児童名					
生年月日	令和 年 月 日				
	ねらい(養護・教育)	記録(生活面・あそび・家庭との連携など)	自己評価		
4月～5月	<div>・生活リズムを整え安心して健康に過ごせるようにする。</div> <div>・保育士と一緒にふれあい遊びをしたり戸外で春の草花や風を感じるなど自然に触れることを楽しむ。</div>	<div>・新学期当初は体調を崩すことが多かったが、以降は生活が安定してきたのか、体調を崩すことはなかった。</div> <div>・桜の花びらを見つけては嬉しそうにたくさん拾う。近くにいた友達が持っていないことに気付くと渡す。</div> <div>・以上児の体操が始まると、保育士を真似て体を動かす。また「バスにのって」歌がはじまると保育士のひざの上や友達が乗っている段ボールのバスに乗り、ふれあい遊びを楽しんでいた。</div>	<div>・登園時間が早くなり、生活リズムが変わったことで、疲れが見られたので、体調の変化に注意しつつ休息をしっかりとるようにした。</div> <div>・体操が好きで、曲に合わせて体を動かす姿が多く見られるようになった。これからの時期、雨の日が増え室内で過ごすことが多くなるので、いろいろな体操を取り入れ室内でも楽しく過ごせるよう、工夫したい。</div>		
6月～7月	<div>ねらいは、養護と教育の視点をもって設定する。</div> <div>○「養護」とは、子どもの生命の保持及び情緒の安定を図るために保育士等が行う援助や関わり。</div> <div>○「教育」とは、子どもが健やかに成長し、その活動がより豊かに展開されるための発達の援助である。</div>		<div>保育のねらいと記録を通して自らの保育実践を振り返り、自己評価することを通して、環境構成や子どもに対する援助について改善に努める。</div>		
			<div>「ねらい」に対する子どもの様子や保育士の関わりなど保育の過程を記録する。必要に応じて日付等を記録する。</div>		
12月～1月					
2月～3月					